					Ι.							
科目ナンバー				科目名	アジアフィールド研修							
教員名	奥田 雄一郎			開講年度学期	2020)20年度 前期 単位数		単位数	1			
概要	本学との学術交流協定校であるベトナムのバリア・ブンタウ大学を訪問し、ベトナムの文化・歴史・現状などについての授業履修をおこなうとともに、現地学生等との交流やフィールドワークを通じて現地における日本の影響を体験する海外研修である。近年群馬県内や日本全体を見てもベトナムの人が増えている。提携校であるバリア・ブンタウ大学の近辺には、日本企業が多数進出している工業地域もあり、日本とベトナムの関係は年々深まってきている。日本を身近に感じているベトナムの学生や日本企業で働く人との交流を通じてグローバル社会に生きる意義や目標を見出して欲しい。 近年日本および群馬との政治的・経済的関係を深めているベトナムの文化について学び、ベトナムの人々											
到達目標 との文化交流を行うことで、現代のグローバル社会に対する理解を深めるだけでなく、学生自身もなが、 バル的な感覚を身につけることを目標とする。									′ □ —			
「共愛12の力」との	D対応											
識見		自律する力		コミュニケーションカ			問題に対応する力					
共生のための知識	È	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、		思考する力				
共生のための態度	E	自己を抑制する力		協働する力)	構想し、	実行する力	0			
グローカル・マイ ンド	0	主体性	0	関係を構築する	6力(\supset	実践的ス	キル	0			
教授法及び課題の フィードバック方 法	・不講義は現地での海外研修フログラムであるため、バリア・フンタワ大字での講義や字生間? ボードバック方 地での視察等様なメニューが用意されており、教授法もメニューによって異なる。講義形式に						学生間交流					
アクティブラーニン	グ	サービスラ	ラーニング		=	果題解決型	学修	(\supset			
受講条件 前提 科目 	・事前研修・受講生は対力する)。・事前研修	・事前研修などの研修プログラム全てにに必ず出席できること。 ・受講生は最大15人なので、これを超えた場合には選抜を行う(なお、選抜方法については、おって告										
教材												
参考図書	図書館にあるベトナム関連本をあげておく。日高敏夫『ベトナムに魅せられて:民族が織りなす文化と人間模様』桜美林大学北東アジア総合研究所、2015年。古田元夫『ベトナムの世界史:中華世界から東南アジア世界へ』東京大学出版会、2015年。小松みゆき『ベトナムの風に吹かれて』KADOKAWA、2015年。京樂真帆子『英雄になった母親戦士:ベトナム戦争と戦後顕彰』有志舎、2014年今井昭夫、岩井美佐紀編著『現代ベトナムを知るための60章』明石書店、2012年。川越道子著『ベトナム「おかげさま」留学記:「異文化」暮らしのフィールドノート』 風響社、2009年。 三橋広夫著『これならわかるベトナムの歴史Q&A』大月書店、2005年。 吉澤南著『ベトナム戦争:民衆にとっての戦場』吉川弘文館、1999年。											
内容・スケジュー ル	本学との学術交流協定校であるベトナムのバリア・ブンタウ大学を訪問し、ベトナムの文化体験や交流を実践する。現在の予定されている内容は以下の通りである。											

Number	GLS-1-016-sn	Subject	Fieldwork in ASIA						
Name	奥田 雄一郎(Okuda Yuichiro)	Year and S emester		Credits	1				
Course O utline	Visit Ba Ria Vung Tau University in Vietnam which is one of our overseas partner universities, par ticipate in Vietnamese culture and history classes, and experience Vietnamese culture through i nteraction with local students. The purpose of this program is to find out the significance of livin g in a global society through exchanges with Vietnamese students and Japanese people who are working overseas.								